

特集

復興への課題
—現地レポートを中心に◆ ピープル
恐怖の写真撮影 1

クエストデザインオフィス 代表 杉本 忠彦

◆ なにわ医見
今、私たちにできることは (赤影) 2

●論考

避難所生活の長期化がもたらすもの
—健康被害への影響について ④
石巻赤十字病院 呼吸器外科
植田 信策医療崩壊に直面する被災地
—石巻市雄勝・北上地区、福島県南相馬
市・相馬市を取材して ⑨

週刊東洋経済記者 岡田 広行

関西は大丈夫か
—最悪のシナリオで備えを— ⑬
関西大学社会安全学部長・教授 (京都大学名誉教授)
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長

河田 恵昭

3・11 後の日本のエネルギー戦略 ⑬
環境エネルギー政策研究所 所長 飯田 哲也人工透析患者の災害対策
—東日本大震災の経験から— ⑳

社団法人全国腎臓病協議会 会長 宮本 高宏

公衆衛生的発想に基づく生活減災 ㉕
関西学院大学総合政策学部 室崎 益輝岩手県山田町での本部救護所活動
—亜急性期から慢性期以降の医療支援モデル— ㉙
医療法人 深仁会 手稲深仁会病院 長谷部 浩平避難所診療から見えてきたもの
—宮城県塩釜市における医療支援から— ㉛

中央区・宇都宮外科胃腸科医院 宇都宮 健弘

災害医療
—その歴史から教訓を拾う— ㉞
本誌顧問 野村 拓

●会員投稿

心ならずの豪華旅
—3月11日と4月8日— ㉟
東大阪市 竹谷 正災害と医療
そして絆としての縁 ㊱
本誌顧問 守田 由雄

表紙のことば

「反り橋」

世界遺産に登録された島根県石見銀山に五百羅漢で知られる羅漢寺があります。この橋は五百羅漢の石像と同じ石で作られており、優美な曲線に日本文化の奥深さがうかがえます

(堺市・近藤 宏和)

撮影日：平成 19 年 8 月
場 所：島根県大田市大森町羅漢寺
カメラ：Canon IXY DIGITAL 900 IS

- ◆ 詰碁・詰将棋 7
 関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段
- ◆ 桂蝶六の落語的交友録 其の十三 44
 八五郎坊主～立ち姿に惚れる～
 落語家 桂 蝶六
- ◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」⑧ 46
 命取りになった痛恨ミス
 関西棋院九段 滝口 政季
- ◆ 進取の気性・ブームを牽引する関西の作家たち⑨ 48
 来阪文学
 珈琲舎・書肆 アラビク/Luft 森内 憲
- ◆ 美術ライター・小吹隆文のお勧め美術展ニュース⑫ 50
 「ART OSAKA 2011」
 「借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展」
 「視覚の実験室 ホモイ=ナジ/イン・モーション」
 美術ライター 小吹 隆文
- ◆ 松田恵の美味しいだけでは食いたらない⑭ 52
 ヤサイフレンチ NR(ノール)
 フリーランスライター&エディター 松田 恵
- ◆ なにわの伝説 207 (なにわの郷土史 353) 54
 時雨焚く西行
 地域史研究者 三善 貞司
- ◆ なにわ友あれ 56
 人と色の不思議な関係
 東住吉区 春田 博之
- ◆ 医学と文学とのデュエット⑬ 71
 イタリア版
 十字の圖診療所 後藤 幸一

INFORMATION

投稿募集	37
8・9月号予告	72
編集後記	72
今月の広告	
ご協力ありがとうございました	
文化部だより	表Ⅱ
日本城民間救急サービス	33
関西共同印刷	表Ⅲ
(株) JSP	表Ⅳ

在宅緩和ケアと在宅医療連携 57

要町病院副院長
 要町ホームケアクリニック院長
 吉澤 明孝

光凝固の適応と限界 63

奈良県立医科大学眼科学教室
 主任教授
 緒方奈保子